

資料-4

(公開版)

第8回 雄物川河川環境検討会

自然再生勉強会の報告

平成28年9月8日

国土交通省 湯沢河川国道事務所

1. 勉強会の趣旨・目的について

【趣旨・目的】

本勉強会は、雄物川・玉川の河川環境の変化を踏まえ、川の生物の住み処をどのように再生していくか、などの川の自然再生のあり方について、地域の方や関係者等と一緒に学び、考えていくことを目的とします。

また、将来的には、雄物川・玉川の特徴であるワンド・たまりの再生や再生後の利活用やモニタリング(見守り)を通じて、河川愛護意識の醸成・浸透を図るとともに、昔ながらの漁法「ためっこ漁」や環境学習等を通じた「川とのふれあいの再生」を展開し、地域一体となった川の自然再生を行っていくことも目的とします。

雄物川・玉川の自然再生に関する勉強会のイメージ



▲河川環境の変化、ワンド等の劣化・消失の現状



▲生息している生物



▲川と人とのふれあい

雄物川・玉川の自然再生に対する勉強

意見交換
共通認識

- 1.自然再生の目標
- 2.自然再生の方法
- 3.再生箇所の利活用(ふれあい)
- 4.再生後のモニタリング(見守り)

ワンド・たまりをどのように再生するか

どのように利活用(ふれあい)していくか

作った後にどのようにモニタリングしていく(見守り)か

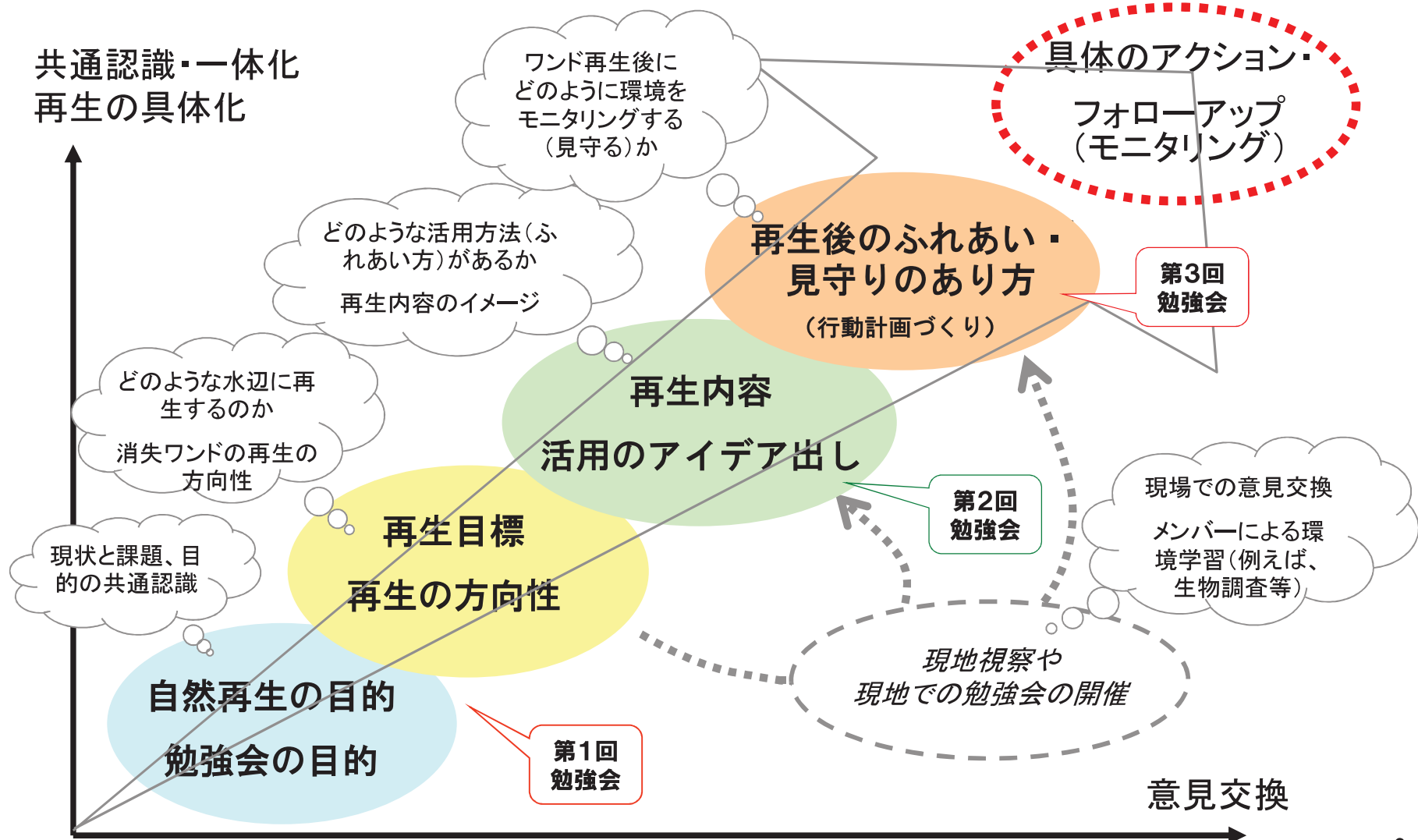
自然再生を通じたふれあい・見守り

1. 勉強会の趣旨・目的について

【進め方のイメージ】

●勉強会の進め方

雄物川・玉川の自然再生のあり方について、玉川の消失したワンドの再生をモデルケースとして勉強会を実施



1. 勉強会の趣旨・目的について

【具体の進め方】

●勉強会の進め方

勉強会	会議の概要	目的
第1回勉強会 2月6日	<ul style="list-style-type: none">・勉強会の目的・進め方・雄物川・玉川の河川環境の変化・自然再生の目的・目標・消失ワンドの再生内容の説明	<ul style="list-style-type: none">・勉強会の目的・進め方の合意・現状と課題、自然再生の共通認識・消失ワンドの再生の方向性についての確認
第2回勉強会 7/23(今回)	<ul style="list-style-type: none">・玉川の水辺(ワンド)の環境に対する共通認識・再生の方向性の意見交換(ワンドの視察・各種調査・勉強会等)・消失ワンドの再生を通じた利活用(イベントや各種活動等のふれあい)に関するアイデア出し	<ul style="list-style-type: none">・玉川のワンド環境の把握・消失ワンドの再生内容のイメージの共有・再生を通じた利活用やモニタリングの方向性の確認
第3回勉強会 (10月～11月頃予定)	<ul style="list-style-type: none">・消失ワンド再生箇所の現地視察・再生を通じた具体的なアクションプラン(イベントや各種活動等のふれあい)や、再生後のモニタリング(見守り方法)に対する意見交換・今後の進め方(予定)について	<ul style="list-style-type: none">・消失ワンドの再生内容(工事内容)の最終確認・アクションプラン(利活用やモニタリング)の作成・今後の進め方の確認

2. 第2回勉強会の報告

【参加者の募集状況】

- 大仙市との事前打ち合わせ等も踏まえて、「雄物川・玉川の自然再生に関する勉強会」として開催する方針とし、募集用のチラシを作成した上で、下記的手段により参加者を募集しました。
- 最終的には、10名の応募がありました。

- ・ 市政だよりによる周辺自治会への配布
- ・ 公民館等への配布（四ツ屋公民館だより）
- ・ 湯沢河川国道事務所のHPの掲載
- ・ 大仙市からの団体・学校等への呼びかけ

玉川の河川環境の変化と再生について考えてみませんか？

～雄物川・玉川の自然再生に関する勉強会～

第2回 2016年7月23日

時間 / 10:00～12:00 (受付9:45～)

集合場所 / 大仙市 四ツ屋公民館
※バス利用、自車の詳細はチラシを参照。

水生生物が暮らしやすい環境が減少しつつある雄物川と玉川の環境の変化を踏まえ、川の自然再生のあり方や、生物の生き残れのように再生していくかについて、地域の方や関係者等と一緒に学び、考えていくことを目的とした勉強会です。

雄物川・玉川の現状

雄物川や、その支川玉川の玉川は、水生生物が生息しやすい環境である「ワンド」や「たまり」が多く、トミヨミミ型のような希少な魚類も生息しています。しかし近年、河床や川岸の植林化が進み、外来植物が増えたことで「ワンド」や「たまり」の面積が減少したり、消失する箇所も見られるようになりました。

※ワンド・たまり・川内にある遊歩道のそばに、魚類にとって好まれる環境要素や魚類の生息場所があります。

今回の勉強会 趣向について

今回の勉強会では、雄物川・玉川の河川環境の現状と再生への課題について、意見交換や質疑応答を行いました。今回は「バスに乗って玉川」の現地を見学します。そこで水辺環境の状態を確認しながら、消失したワンドの再生の方向性や母体中の方法、管理の仕方などについて、地域の方などと一緒に学び、考え、アイデアを出し合いたいと考えています。

前回参加して下さった方も、今回が初めての方も、よろこんで参加してください。川や生物、自然に興味がある方のご参加をお待ちしています！

雄物川は放世館へ
雄物川・玉川河川再生推進協議会 湯沢河川国道事務所 湯沢河川再生推進協議会 湯沢河川再生推進協議会

▲チラシ（1500枚印刷）

募集結果

- ✓ 個人としての参加 × 1名
- ✓ 地元協議会等の方 × 3名
- ✓ 環境団体 × 2名
- ✓ 学校関係者 × 1名
- ✓ 地元の建設関係 × 2名
- ✓ 漁業協同組合 × 1名

お知らせ

玉川の自然再生に関する勉強会

河川環境の再生について考えてみませんか？



7月から四ツ屋公民館でも
蛍光管、乾電池等を回収します！

今年の4月から始めている蛍光管や乾電池などの回収について、回収場所が市役所倉庫（おむすび）に変わりましたが、市民からの強い要望により、7月1日からあらたに大曲地区の公民館でも回収します。

四ツ屋公民館でも回収ボックスを設置しますので、種類毎の分別をお願いします。

詳しくは「玉川」に紹介された
なお秋頃、第三回目的の勉強会も予定されており、7月23日のチラシをご覧ください。

▲四ツ屋公民館だより

2. 第2回勉強会の報告

【開催概要】

第2回勉強会の概要

- 日程：平成28年7月23日（土）
10：00～12：00
- 会場：四ツ屋公民館
- 司会：湯沢河川国道事務所

プログラム

1. 開 会
2. 挨拶
3. 本日の流れの説明
4. 現地視察
 - (1)玉川のワンド
 - (2)玉川地区水辺の楽校
 - (3)消失ワンドほか
5. 本日のまとめ
 - (1)感想・意見交換
 - (2)質疑応答
6. その他（今後の予定等）
7. 閉 会

現地視察のルート



勉強会の様子

開会の挨拶

HP非公表

本日の流れを説明した後にバスに乗車

HP非公表

参加者：10名 + 大仙市及び四ツ屋公民館4名

2. 第2回勉強会の報告

トミヨ属淡水型、ヤリタナゴ、ウグイ、アブラハヤ、ドジョウ、カジカ等 全10種

【勉強会の様子】

勉強会の様子

- 玉川の現地では、ワンドの環境の概要や、事前に採捕していた魚類等について説明するとともに、その場で投網やタモ網を実演しました。

ワンドでの勉強会の様子

HP非公表

資料説明の様子

投網やたも網による採捕の実演

HP非公表

NHKによる撮影

玉川地区水辺の学校

- 玉川地区水辺の楽校について、整備の経緯等の概要について説明し、現地状況を確認しました。

HP非公表

2. 第2回勉強会の報告

【主な意見】

玉川消失ワンドの再生について

四ツ屋公民館に戻っての意見交換の様子

- 現地視察を終えた後に、四ツ屋公民館に戻り、消失ワンドの再生についての説明を事務局から行いました。
- 最後に、参加者一人一人から、本日の感想や今後に向けての意見を頂きました。

HP非公表

参加者からの意見の概要

- ワンド・たまりの再生の必要性を理解して頂いた上で、次世代(子供達)に引き継ぐための整備や維持管理に関する意見がありました。

【今回の勉強会について】

- ワンド・たまりについて色々学ぶことができた。
- 外からみると大きな魚が多いように感じていたが、今回の見学で小さな魚もたくさん生息していると感じた。
- 希少種をはじめとした多くの魚がまだ住んでいることを実感できた。

【ワンドの再生や今後について】

- 小魚が成長するためにも、消失したワンドの再生は今後も進めて欲しい。
- 私たちがこれらのワンドを整備し、次世代の子供達のために残していく必要がある。
- 消失したワンドを再生させるだけでなく、再生後どのようにして維持管理していくことかを考えていくことも重要である。
- こうしたワンドをただ再生させるのではなく、子供達が遊び・学べる空間として整備出来ると良い。
- 自然再生の取り組みについて、子供も含めたより多くの人たちに現状を知ってもらうことも大切である。(子供を対象とした説明会の企画等)

【水辺の楽校について】

- 今回現場を見て、花などがあった方が河川を訪れた際により親しみがもてて良いと思う。
- 玉川地区の楽校も再生させ水が流れるようになれば、たくさんの人たちが集まってくるようになるので、川の良さを伝えるためにも整備を進めて欲しい。
- もう少し予算を増やし、より多くの地域住民が水辺の楽校で遊べるように整備して欲しい。

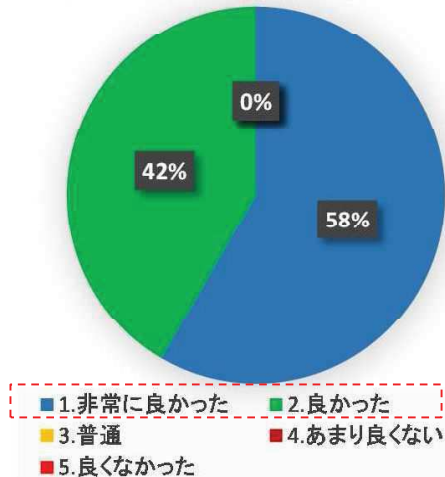
2. 第2回勉強会の報告

【アンケート結果】

アンケートについて(参考)

- 参加者全員から意見・感想を頂くため、勉強会終了後にアンケートを実施しました。
- 勉強会については、参加者全員の方から良かった・非常に良かったと回答頂きました。理由として、現地で実際の川を見るところで、樹林化の実態やワンドの重要性を理解できたこと等がありました。

本日の勉強会に参加して



次回は、消失ワンドの再生予定箇所を中心に現地視察を実施予定。

第3回の勉強会に向けた意見・アドバイス等

- また現地に行かせて欲しい。⇒第3回で玉川消失ワンドを見学予定
- 生物のモニタリングのほかに、湧水(伏流)の実態などを知りたい。⇒第3回で提示
- ワンド再生整備の施工方法を知りたい。⇒第3回で提示
- 整備後の長期的な維持管理や保全の取り組み方法について知りたい。⇒第3回で提示
- 地域の子供達も参加を促す事により、より内容のあるものになると思う。⇒館長を通じてPTAへの打診を検討

その他自由意見

- 施工後の維持管理が重要。維持管理の予算付けが必要ではないか。⇒継続したモニタリングを実施し、順応的管理を行っていく。
- 消失ワンドの再生とあわせて、子供達の遊びの場、勉強の場として整備してもらいたい。⇒今後、検討を進める。

3. 今後の予定 (案)

【今後の予定(案)】

時期	H27年度			H28年度												H29年度											
	(2016年)			(2016年)						(2017年)						(2017年)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
設計・工事	設計												工事開始予定 (詳細時期は未定)														
勉強会	←												→														
	←												→														

第1回 (前回)

<目的>

- ・現状と課題の共通認識
- ・勉強会の目的・進め方の合意
- ・消失ワンドの再生の方向性についての確認

<達成した事項>

- 雄物川・玉川の河川環境の現状と課題、自然再生目標について学んだ
- 再生内容を説明し、理解して頂いた
- 次回以降の開催方針について検討し承認を得た

第2回 (今回)

<目的>

- ・玉川の水辺環境(ワンド)の把握
- ・消失ワンドの再生内容のイメージの共有
- ・再生を通じた利活用やモニタリングの方向性の確認

<達成した事項>

- 玉川のワンド・たまりに生息・生育する生物の確認(魚類調査)を行った
- 再生を通じた利活用に関するアイデア出しを行った



第3回 (次回)

<目的>

- ・消失ワンドの再生内容(工事内容)の最終確認
- ・アクションプラン (利活用やモニタリング)の作成
- ・今後の進め方の確認



<達成目標>

- 再生箇所の確認(植物・昆虫調査など)
- 具体的なアクションプランや、再生後のモニタリング(見守り方法)に対する意見交換
- 今後の進め方(予定)について検討